

Osaki Fan Club

おおさき ファン クラブ

※写真はイメージです。

町内の小・中学校には、『大崎学』について学ぶ機会がある。大崎の歴史や特産物、文化財、産業などについて、見学や体験、座学を通して学習し、郷土愛を育む。

せっかく地域おこし協力隊として大崎町に来たのだから、何かしなければ・・・と気持ち焦っているとき、この『大崎学』を活用してはどうか、とアドバイスをいただいた。

そこで、まずは自分自身が大崎町について勉強してみた。すると深い歴史や貴重な文化財、全国・世界に誇れる産業や特産品など、いろいろと発見することができた。素直に『すごいな！おおさき！』と思った。

私が生まれ育った熊本の地元の町は、大崎町とよく似た町だ。海あり、山あり。人口もあまり変わらないくらい。でも実は、町のことはよく知らない。歴史や文化も古いものもあるだろう。自慢できるような産業や特産品もあるだろう。だが、「あなたの生まれ育った町は、どんな町ですか？」と尋ねられても、歯切れの悪い回答しかできないかもしれない。「こんなすごいところがあ

る！」「来て！見て！食べてみて！」と自信を持って自分の町を誇れることが、一番の町のPRになるのだろうと思う。

ところで、私たち大人は、子どもたちにこの大崎町のことを普段からどういう風に話しているだろうか。否定的な表現で伝えれば、子どもたちはマイナスのイメージを持つ。反対に、肯定的な表現で伝えれば、子どもたちの心にはプラスのイメージが芽生える。

私たち大人が、子どもたちに与える影響の大きさは、想像をはるかに超える。

余談になるが、私の母は大崎町産『いも飴』の大ファンである。帰省するときには、必ずいも飴を何袋か買って帰るのが恒例である。

小学2年生の姪と5歳の甥は、さつまいもを買って帰るととても喜ぶ。

「また、美味しい食べ物、買って帰るからね！」

いつの間にか、私は大崎町のファンになっていた。

(地域おこし協力隊 河瀬史奈)



2学期は野方小でお世話になりました！5年生と一緒にお米の脱穀をしたら、こんなに素敵なプレゼントをいただきました♡
3学期は全ての小・中学校に行かせていただいております。また、新たな出会いにワクワクしています♪
(河瀬)



子どもたちと一緒に遊ぶと、いろいろな技が身に付きます！
お絵描き、あやとり、鬼ごっこ！！